

畜舎の火災事故を起こさないために

令和3年3月3日(水)未明に瑞浪市内の養鶏場にて火災が発生しました。

現時点では原因は特定されておりませんが、特に冬期は、空気が乾燥し火災が発生しやすくなっていることに加え、畜舎等において暖房や保温器具等の使用機会が増えます。火災事故から家畜・畜舎を守るため、今一度点検等を行いましょ。

＜火災事故防止のための注意点＞

1, 暖房器具等の使用時の取扱い

- ✓ 暖房器具等の周囲に燃えやすいものを置かない
 - － 例) 乾草、エサ袋、敷料等
- ✓ 石油ストーブは火をつけたまま給油や移動をしない。



2, 電気設備と配線の点検 ……漏電と過熱

1. 漏電

- ✓ 絶縁の損傷はありませんか。
 - － 電気設備、配線が雨や結露などにより傷んでいませんか。
 - － 扉に挟まれたり、ネズミにかじられたことによる配線の露出はありませんか。
- ✓ ホコリは付着していませんか。
 - － コンセントやプラグ、スイッチの周囲にホコリはたまっていませんか。
(日常的に畜舎全体の整理整頓、清掃を行いましょ)
- ✓ 電気保安協会等の定期点検を受けて漏電の有無を確認しましょ。

2. 過熱

- ✓ タコ足配線による容量オーバーはありませんか。
- ✓ プラグはコンセントにしっかり差し込まれ、老朽化していませんか。
- ✓ 開閉器には適正なヒューズが使用されていますか。

3, 畜舎火災の発生を想定した準備をしておきましょ。

- ✓ 消火器具を整備・充実しておきましょ。
- ✓ 消火訓練に取り組みましょ。
- ✓ 家畜の避難方法や避難場所を検討しておきましょ。

東濃家畜保健衛生所電話 0573-26-1111 (内線:442)
※来所される場合は、平日午前8時半から午後5時15分の間にお願いましょ。

